

1 教育目標

教育目標「明るく たくましく 心豊かな子どもを育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子どもの視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子ども一人一人の可能性が発揮され、自己実現を図ることができる保育の創造に努める。
- 教職員の専門性を磨き、資質向上を図ることができる研修に努める。
- 家庭、地域との連携を深め、地域の子育て支援に努める。

3 幼稚園自己評価結果

○実施時期 平成 2 9 年 1 2 月 1 1 日～1 5 日

○対象 保護者、全職員

*A そう思う B 少し思う C あまり思わない D 全く思わない 各問に A から D より 1 つ選んで回答した人数の合計を示している。

*園児数 3 6 回収数 3 3 保護者回収率 9 1. 7 %

	項 目	保護者				職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
		A	B	C	D	A	B	C	D	
保育内容・研究推進	①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	29	3	1	0	6	0	0	0	・教師が子どもと共に遊びに熱中して、いろいろな思いに共感することで、信頼関係を築くことができた。 ・幼児は日々の遊びを楽しみ、自分のしたい遊びを見付けたり、考えを試したり工夫したりしながら遊びを楽しむようになってきた。 ・幼児が自分の思いを相手に伝えることができるように、教師は幼児が考えを巡らせる姿を待ったり、幼児の動きを言語化して伝えたりなどし
	②わが子は、幼稚園に気の合う友達がいる	22	11	0	0	2	4	0	0	
	③わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	23	9	1	0	6	0	0	0	
	④わが子は、自分の気持ちを先生や友達に伝えようとするようになってきている	17	14	2	0	3	3	0	0	

保育内容・研究推進	⑤わが子は、相手の話を聞いて共感したり、相談したりしながら遊ぼうとするようになってきている	13	19	1	0	3	3	0	0	てきた。幼児同士での言葉による伝え合いも進み、友達の遊びや考えを取り入れて自分の考えを広げる姿や、友達と役割を分担して遊ぼうとする協同性が育ってきた。 ・研究主題を「自ら考え、友達と意欲的に遊ぶ幼児を育てる—ごっこ遊びにおける幼児の学びと教師の援助—」とし、幼児の主体性を育むための教師の役割に視点をあてた実践を重ねてきた。神戸大学附属幼稚園前副園長岸本佳子先生、兵庫教育大学大学院准教授鈴木正敏先生を講師に招き、市指定研究会や園内研修を行い、教師の資質に努めてきた。 ＊幼児自ら考える姿、友達と意欲的に遊ぶ姿がさらに育つように、教師の援助との関連を分析し、幼児の学びを支える教師の援助の在り方について研究を深めていきたい。 ＊項目④⑤については他の項目と比較すると評価がやや低めであるので今後も重点的に取り組んでいきたい。
	⑥幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	27	6	0	0	3	3	0	0	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	27	5	1	0	3	2	1	0	・登降園時やおたより、ホームページなどを通して、幼児が自ら考え、実現したいことに向かって試行錯誤する姿を大切にしていることが保護者に十分に伝わるように心掛けてきた。 ・日々の対話や行事後のアンケートを通して保護者の思いに傾聴し、保護者との信頼関係が深まるよう心掛けてきた。 ・運動会や生活発表会では行事当日だけでなく、数週間前に参観をもつことで、遊びの過程や試行錯誤しながら取り組む様子を保護者に知っていただく機会となった。 ・小学校との交流や学校給食体験会を通して、園児児童の姿から教師間の理解を深めることにつながった。 ・園行事の準備や地域の環境整備で地域コミュニティにお世話になり、地域の幼稚園としての結びつきを実感することができた。 ＊写真を活用し視覚的に育ちを伝える工夫として、ドキュメンテーションに取り組んだ。今後も幼稚園の学びについて発信の工夫に努めたい。
	⑧幼稚園は、保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じられるようにしている	30	3	0	0	5	1	0	0	
	⑨幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	28	5	0	0	5	1	0	0	
	⑩幼稚園は、小学校や中学校などと交流をよく行っている	29	4	0	0	5	1	0	0	
	⑪幼稚園は、地域コミュニティ行事への参加や福祉施設訪問などを通して地域との交流を深ようとしている	29	4	0	0	4	2	0	0	
	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	29	3	1	0	5	1	0	0	・園庭と隣接する公園の活用や、畑の整備などにより、四季を感じ、伸び伸びと遊べる環境整備に努めてきた。

環境整備・安全管理	⑬幼稚園は、施設や遊具の安全に努めている	28	2	1	1	6	0	0	0	・青少年センターや川西警察、川西北消防署と連携しての避難訓練を実施し、防災マニュアルや避難経路の見直し等を行った。 ＊毎月、職員が施設や遊具の安全点検を行っているが、見落としのないよう安全面に配慮したい。
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	29	4	0	0	6	0	0	0	
	⑮幼稚園は、保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	30	3	0	0	6	0	0	0	

4 学校園関係者評価結果

○評価委員会開催日	平成30年3月8日
○評価委員会参加者	学校評議員 清和台小学校長様 けやき坂小学校区主任児童委員様 民生委員様 前年度保護者会長様 29年度保護者会 会長様 副会長様 清和台幼稚園 園長

○内容

- ・年間の取り組みについて（特に前回評議員会後の教育活動について）
- ・学校評価アンケートについて
- ・今後の課題と方策について

項 目	・取り組みと成果
①わが子は、幼稚園の遊びを楽しみにしている	・生活発表会、運動会、研究発表会などを通して、子どもの姿を見てきた感想として、子どもが自分で考えて、という姿がよく見られたと思う。先生が子どもの思いをくみ、よく見守っていることで、子どもたちが伸びやかであると感じている。 ・小学校では、教師の発問をきっかけに子どもの変容を見取っている。幼稚園では子ども一人一人がそれ
②わが子は、幼稚園に気の合う友達がいる	
③わが子は、自分なりに考えたり、工夫したりしながら遊ぶようになってきている	

保育内容・研究推進	④わが子は、自分の気持ちを先生や友達に伝えようとするようになってきている	ぞれの好きな遊びを通して、経験していることが学びにつながっていることが分かった。 - 子どもたちがたくましく生きる力を身につけられるように、仲間と協同する体験や創造性が求められていると思う。幼児期に遊びに熱中し、いろいろな経験を重ねようと取り組んでいることを、幼稚園内外に発信していくことが大切だと感じる。 - 子どもの姿の読み取りが教師間で共通していると感じている。 - 園生活のエピソードを保護者に伝える中で、子どもの気持ちに寄り添うかわりや、子ども同士をつなぐ役目について具体的に話すことで、保護者に向けた子育てアドバイスにつながると思う。
	⑤わが子は、相手の話を聞いて共感したり、相談したりしながら遊ぼうとするようになってきている	
	⑥幼稚園は、子どもが自分のやりたい遊びを実現できるように見守ったり、支えたりしている	
幼児理解・保護者や地域との連携	⑦幼稚園は、子どもの様子や育ちを、降園時やクラスだより、ホームページなどで分かりやすく伝えている	- 子どもが友達と遊ぶことが楽しいと感じられるようになったのも、先生に子どもの気持ちに寄り添ってもらい、励ましてもらえたからだと感じている。 - 親子での時間を大切にしたい、保護者も清和台幼稚園を卒園したからなどの思いをもって清和台幼稚園を選んだ。これからも地域に根ざした幼稚園であってほしい。 - 行事の発表では、取り組みの過程を大切にしている、と幼稚園でも小学校でも聞き、幼小どちらも大切にしていることが同じであると感じている。 - 親子での小学校見学や給食体験、遠足を経験でき、感じたことを親子で伝え合うことができた。
	⑧幼稚園は、保育参観を通して、子どもの様子や育ちを感じられるようにしている	
	⑨幼稚園は、保護者からの相談に誠実に対応している	
	⑩幼稚園は、小学校や中学校などと交流をよく行っている	
	⑪幼稚園は、地域コミュニティ行事への参加や福祉施設訪問などを通して地域との交流を深ようとしている	
環境整備・安全管理	⑫幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	- 園庭は美しく整備され、四季を十分感じられる工夫をしている。 - 大多数の保護者は「そう思う」と評価している。 - アンケートの回収率が高く、意見を吸い上げられていると思う。
	⑬幼稚園は、施設や遊具の安全に努めている	
	⑭幼稚園は、避難訓練などを行い、子どもが災害時に安全に行動できるよう指導している	
	⑮幼稚園は保護者への緊急連絡がスムーズに伝わるようにしている	

○学校関係者評価については、学校評議員会を活用し、評価委員会を行った。

○運動会、音楽会、生活発表会などを参観していただき、幼児の姿を通して、幼稚園教育や運営について意見をうかがうことができた。

○保護者対象の評価アンケートの結果の分析から、来年度に向けた課題や方策について示唆を頂くことができた。

○地域コミュニティや学校と連携しながら、清和台幼稚園の取り組みの発信に努め、地域に根ざした幼稚園としてのよりよい方向を模索することができた。